

国東市男女共同参画審議会 概要

- I 日 時 平成29年2月28日(火) 午後2時00分～午後4時00分
- II 場 所 アストくにさき マルチホール
- III 出席委員 審議会8名(12名中)
- IV 出席者 国東市長・富永副市長・加藤教育長・国東市役所各課所属長21名
事務局3名(政策企画課)
- V 会次第
 - 1. 開 会
 - 2. 市長あいさつ
 - 3. 諮 問
 - 4. 報 告 1) 平成28年度男女共同参画事業報告
2) 平成28年度進捗状況報告(各課)
 - 5. 審 議 1) 平成29年度男女共同参画事業計画について
2) 第2次国東市男女共同参画計画について
 - 6. 閉 会

会議の概要

事務局が平成28年度の事業を報告後、国東市役所各課所属長より計画の施策に対して28年度の進捗状況について報告し、その後質疑応答及び意見交換を行いました。また、第2次国東市男女共同参画計画(素案)について諮問しました。

<平成28年度の進捗状況について>

○女性防災士が現在7名ということだが、今後女性防災士を育成する計画はあるか？

———女性防災士を今後増やしていくのは市の課題でもある。女性消防団が結成されたということもあり、女性消防団員の防災士の資格取得を依頼したり、地域の民生委員などにも協力を得ながら、女性防災士の育成・拡大をしていきたい。

○待機児童はあるか？

———待機児童の捉え方も色々あるが、基本的には待機児童はない。しかし、0歳児の空きはなく、育休を伸ばして家庭でみているという事例もある。

○農漁村女性集団連絡協議会について、人員の減少や組織の高齢化等が課題としてあるが、今後の支援について

———農林業従事者の高齢化が激しいため、組織の若返りを図るのが難しくなっ

ている。しかし、高齢化したからといって組織の活動が弱くなっているとは思わない。今ある力の中でどうやっていくかを話し合いながら支援していきたい。また、小ネギトレーニングファームや花学校など、農業従事者の若返りを図りながら、組織の活動に繋げていけたらと考えている。

○グリーンツーリズムについて、具体的な事業は？

———都市部の学校では、農家さんの家に泊り農業体験をするという教育旅行がある。わずか1泊2日だが、一生の思い出として残る生徒もいれば、宿泊後も農家さんとの付き合いが続く方もいる。現在国東市には33の農泊受入農家さんがいるが、新しい受入農家さんの掘り起しも図っていきたい。このグリーンツーリズムは家族協働で受け入れを行うものだが、「おもてなし」の部分も含めて女性の役割が非常に大きいと感じている。

○学校現場では小学校・中学校・高校と、男女平等を意識した教育が行われる。これはどこの学校でも同じで、ジェンダーに捉われず“男だから、女だから”という意識を持たず進路選択をする。しかし、社会や地域に“男のくせに、女のくせに”という意識をもった方が多いと、学校で学んだことが意味の無いものになってしまう。国東市はまだまだそういった意識に捉われている方が多いように感じる。地域の人たちに対する啓発活動にもっと力をいれていただきたい。

———政策企画課で実施している男女共同参画に係る講演会や研修会等で、区長・民生委員・老人クラブにも参加の案内をしている。男女共同参画や人権などの啓発事業は様々な課で実施しているが、各課が連携を取りながら、固定的な性別役割分担意識が少しでも解消されるよう取り組んでいきたい。

<第2次国東市男女共同参画計画（素案）について>

○女性活躍推進法に係る特定事業主行動計画には、育児休業を取得する男性職員を毎年1名とする、応募者・採用者に占める女性の割合を40%とするなど目標を掲げている。第2次国東市男女共同参画計画（素案）にもあるが、女性の活躍推進を進めることとなっている。推進のための一つの施策として、理解ある男性指導者（イクボス）の育成が必要だと思う

○医療の現場は毎年大きく変わってきている。今後病床数も減少し、在宅での生活を余儀なくされる方も増えてくるとはず。そうなったときに介護する方同士の交流の場、意見交換や現在介護をしている方の経験を聞く場があれば良いと思う。

- “男は仕事、女は家庭”といった考え方（固定的性別役割分担意識）に「反対する」と回答した人が5年前の43.6%から、今年66.9%と大きく上昇している。この要因は？
———これまで実施してきた啓発活動の成果が出てきたのが要因の一つである。しかし、ここ数年で社会全体にその意識が大きく高まってきた。テレビ等で家庭や育児に参画する男性、イクメンがピックアップされたり、過去に活躍した女性にスポットをあてたドラマもあった。メディアの力もあり、社会全体の意識の醸成が進み、この結果が出たのだと思われる。

- 市審議会等の女性委員の割合を30%以上にするよう積極的に働きかける。とあるが、是非推進してほしい。審議会によっては、大勢の委員の中で、女性委員が1人・2人といった審議会もある。その状況で、女性代表として意見を言うのは非常に負担と不安が大きい。そうなるとう女性が委員を引き受けるのを躊躇うこともある。

国東市男女共同参画審議会委員

(任期：平成 27 年 5 月 8 日～

平成 29 年 5 月 7 日)

氏名	区分	備考
吉田昇子	一般	会長
上原隆生	農林水産関係	副会長
鶴山恒教	一般	
田口寛敏	企業関係	
安部弥生	商工会関係	
永井真智子	学校関係	
伊美哲二	人権擁護委員	
徳丸由美子	女性団体関係	
岩光治美	主任児童委員	
植田和彦	まちおこしグループ	
吉田眞津子	一般	
池田郁子	一般	